



福島医大ふくしま子ども  
女性医療支援センター教授  
高橋 俊文氏

高橋 俊文氏

子宮内膜症は月経困難症の原因として重要な病気です。月経困難症の中でも原因を特定できる続発性月経困難症に分類されています。子宮内膜症は生殖年齢女性の十人に一人、月経困難症を訴える女性の三人一人に合併します。治療が必要な月経困難症の患者数は七百八十三万人との報告もありますので、子宮内膜症の女性は二百万人以上と見積もることができません。

子宮内膜症は月経困難で被われています。子宮内膜は女性ホルモン（エストロゲンやプロゲステロン）によって厚くなり、月経が起きると剥がれて月経血として体の外に出るだけです。これが子宮内膜症です。ほとんどの女性で月経血は「お腹の中」に逆流しますが、全ての女性が子宮内膜症になるわけではありません。

# 出産年齢上昇で増加

ただでなく「お腹の中」にも逆流します。「お腹の中」に逆流した月経血中の子宮内膜が腹膜や卵巣の表面に生着すると、その場所で毎月出血を繰り返します。これが子宮内膜症です。これが子宮内膜症です。ほとんどの女性で月経血は「お腹の中」に逆流しますが、全ての女性が子宮内膜症になるわけではありません。

現代の女性が生涯に経験する月経回数は約四百回です。出産回数が多いと月経回数が少なくなり、多産であることが知られています。現代の女性が生涯に経験する月経回数は約四百回です。出産回数が多いと月経回数が少なくなり、多産であることが知られています。

子宮内膜症は、思春期から性成熟期の女性で、痛みを伴う月経困難症が疑われる場合、いきなり腹腔鏡検査は行われず、初期治療として鎮痛剤や低用量エストロゲン・プロゲステン（LEP）製剤の投与が行われます。初期治療が無効の場合、その他のホルモン療法や手術療法が考慮されます。不妊症や卵巣チョコレート嚢胞がある場合は、薬物療法の適応とならないこともあります。適切な時期に腹腔鏡検査（手術）が必要となります。

## 月経の異常 子宮内膜症

子宮の内面は子宮内膜で被われています。子宮内膜は女性ホルモン（エストロゲンやプロゲステロン）によって厚くなり、月経が起きると剥がれて月経血として体の外に出るだけです。これが子宮内膜症です。これが子宮内膜症です。ほとんどの女性で月経血は「お腹の中」に逆流しますが、全ての女性が子宮内膜症になるわけではありません。